

企業経営の現状を把握し
早期にリスクに気づくことが重要です！

企業経営の未病 CHECKシート

5分で
できる！

感染症の影響や物価高騰など社会情勢の影響に対応して

リニューアルしました



ダウンロード版



WEBアプリ版



「企業経営の未病」とは

企業の経営状況は「健全」と「不振」を明確に区別できるものではありません。この健全経営と経営不振の間を連続的に変化する状態が「企業経営の未病」で、下の図のようなグラデーションモデルで表すことができます。

健全経営

未病

経営不振

未病の状態のどこにいても、少しでも健全経営にもっていこうとする取組が「企業経営の未病改善」です。

企業経営の未病相談ダイヤル (公財)神奈川産業振興センター

0120-918-709 FAX 045-633-5194

神奈川県 産業労働局 中小企業部 中小企業支援課 電話(045)210-5553

**企業経営の現状を把握し
早期にリスクに気づくことが重要です!**

企業経営の**未病** CHECKシート

5分
できる!

このチェックシートは、簡単な質問に答えるだけで
経営上の課題やリスクが見つかります。チェック後には課題解決のヒントも!



チェックシート実施後は

■ まずは相談(相談窓口)

チェックシートの結果を踏まえ、ヒアリングを行い、相談員が貴社に潜むリスクなどをお示しします。

■ 相談後、課題解決に向けた専門家派遣

貴社に潜むリスクへの対応策について、専門家(中小企業診断士)を派遣して対応方法のアドバイスをします。

WEB版は
こちら!



まずは、チェックしてみよう! ▶

経営状況について、次のⅠ～Ⅴの各項目の質問のうち、該当するものすべてにチェックをつけ、その合計数を①～⑤の枠内に記入してください。

Ⅰ
先行き

- 常に新規取引先の開拓をしている
- デジタルやDXなどが社員で話題となっている
- 自社の商品・技術等は、同業者と同じようなレベルである
- 事故や天災、感染症等への対応はその都度考えている
- 後継者への引き継ぎはまだ先の話だと考えている

①

点

▶ 最終ページのAで
方策を確認！

Ⅱ
従業員

- 特定の従業員にまかせている
- 必要なスキルは業務をする中で身につければよい
- 求人を出しても応募者が集まらなくなってきた
- 笑顔で挨拶をする従業員が減っている
- ここしばらく従業員の入れ替わりがない

②

点

▶ 最終ページのBで
方策を確認！

Ⅲ
受注

- 急な注文や仕様変更があってもなんとかしてしまう
- 最近、納期が守れなくなりそうで肝を冷やした
- 自社の出荷可能数は担当者に聞けばわかる
- クレーム対応にかかる時間が増加している
- 従業員にまかせていればマニュアルはなくても大丈夫だ

③

点

▶ 最終ページのCで
方策を確認！

Ⅳ
稼ぐ力

- 主力商品の売上に占めるウエイトが高い
- これ以上のコスト改善は難しいと考えている
- 思い通りの価格で取引することはなかなか難しい
- 賃上げや設備投資を最近行っていない
- いつも資金繰りのことを考えている

④

点

▶ 最終ページのDで
方策を確認！

Ⅴ
組織

- 自分がいないと業務がちゃんと進むか心配になる
- 人の配置換えをよくしている
- 従業員の健康が気になる
- 顧客情報やノウハウは昔ながらの方法で管理している
- 生産図面や企画書は誰でも見ることができる

⑤

点

▶ 最終ページのEで
方策を確認！

FAX送信票 ①

※キリトリ線で切り離して、FAX送信票①②をFAXしてください。

「企業経営の未病」とは

企業の経営状況は「健全」と「不振」を明確に区別できるものではありません。この健全経営と経営不振の間を連続的に変化する状態が「企業経営の未病」で、下の図のようなグラデーションモデルで表すことができます。

健全経営

未病

経営不振

未病の状態のどこにいても、少しでも健全経営にもっていこうとする取組が「企業経営の未病改善」です。

将来のリスクと改善のヒント

	将来のリスク	改善のヒント	相談すると分かること
I 先行き	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の縮小 ・市場からの撤退 ・競争力の低下 ・操業の停止 ・事業の休止・廃業 	<ul style="list-style-type: none"> ・自社の強みの磨き上げ ・新分野への進出 ・開発力の強化 ・BCP・事業承継計画の作成 	A 顧客獲得や売上増など収支の改善につながる方策が見つかります。
II 従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ノウハウ・技能の消失 ・教育不足による離職 ・専門人材の不足 ・求心力の低下 ・活力の低下 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟な働き方の導入 ・人材の採用と計画的育成 ・自社の魅力のPR 	B 働き方改革や魅力のある職場作りにつながる方策が見つかります。
III 受注	<ul style="list-style-type: none"> ・コストの増加 ・受注機会の喪失 ・信用の低下 ・不良品やトラブルの発生 	<ul style="list-style-type: none"> ・発注や出荷の適切な把握 ・作業の平準化・標準化 	C 販路開拓など、収益力を向上させる方策が見つかります。
IV 稼ぐ力	<ul style="list-style-type: none"> ・収益の低下 ・競争力の低下 ・資金ショート 	<ul style="list-style-type: none"> ・新商品・新技術の開発 ・生産性の向上 ・運転資金の確保 	D 資金の確保など収益力を安定させる方策が見つかります。
V 組織	<ul style="list-style-type: none"> ・機会損失 ・事故の発生 ・情報の流出 ・信用の喪失 	<ul style="list-style-type: none"> ・責任者の育成 ・健康経営の実践 ・情報セキュリティの強化 ・重要情報管理の徹底 	E 情報流出などの事故防止につながる方策が見つかります。

まずは、
ご相談
ください!

改善のヒントを参考に、自ら取り組むことも大事ですが、取り組む方向性は様々です。

- 各種支援策を活用して、さらなる成長を目指す
- 将来のリスクを解消し、経営の安定化を図る
- 次の世代に経営を委ねることも考えてみる
- 事業の休止や整理も選択肢のひとつとして検討してみる

窓口では、様々な支援策の活用や今後の方向性を、一緒に考えていきます!

企業経営の未病相談ダイヤル (公財) 神奈川県産業振興センター



0120-918-709

FAX 045-633-5194

支援機関や支援策について詳しく知りたい方は

神奈川県 企業経営の未病改善

検索

問合せ先

**企業経営の現状を把握し
早期にリスクに気づくことが重要です!**

企業経営の**未病** CHECKシート

5分
で
可
能!

このチェックシートは、簡単な質問に答えるだけで
経営上の課題やリスクが見つかります。チェック後には課題解決のヒントも!



チェックシート実施後は

WEB版は
こちら!



■ まずは相談(相談窓口)

チェックシートの結果を踏まえ、ヒアリングを行い、相談員が貴社に潜むリスクなどをお示しします。

■ 相談後、課題解決に向けた専門家派遣

貴社に潜むリスクへの対応策について、専門家(中小企業診断士)を派遣して対応方法のアドバイスをします。

まずは、チェックしてみよう! ▶

経営状況について、次のⅠ～Ⅴの各項目の質問のうち、該当するものすべてにチェックをつけ、その合計数を①～⑤の枠内に記入してください。

Ⅰ
先行き

- 商品やメニュー、サービスは同業者と見劣りしない
- 商店街や地域の取組にはあまり興味がわからない
- デジタルやDXなどが店員で話題となっている
- 事故や天災、感染症等への対応はその都度考えている
- 後継者への引き継ぎはまだ先の話だと考えている

①

点

▶ 最終ページのAで
方策を確認!

Ⅱ
店員

- 接客は特定の従業員にまかせている
- 従業員のおしゃべりが気になる
- 求人を出しても応募者が集まらなくなってきた
- 笑顔で挨拶をする従業員が減っている
- こころばらく従業員の入れ替わりがない

②

点

▶ 最終ページのBで
方策を確認!

Ⅲ
店舗

- ふらっと訪れるお客さんが少ない
- ディスプレイや商品陳列はあまり変えていない
- 商品の魅力発信や情報提供をもっと進めたい
- 清掃にかかる手間が増えてきたと感じる
- 商品や材料がなくてあわてたことがある

③

点

▶ 最終ページのCで
方策を確認!

Ⅳ
稼ぐ力

- お客さんはほとんど常連である
- ここ何年も価格を変えていない商品やメニューが多い
- 仕入れや人件費の上昇を価格に転嫁せずがんばっている
- 賃上げや改装を最近行っていない
- 売上が頭打ちで資金繰りに苦労している

④

点

▶ 最終ページのDで
方策を確認!

Ⅴ
組織

- 自分がいないと仕事がちゃんと進むか心配になる
- 臨時休業することが増えてきた
- 従業員の健康が気になる
- 顧客情報やレシピの管理にはそれほど気をつかわない
- 商品や材料の仕入れが滞ることがある

⑤

点

▶ 最終ページのEで
方策を確認!

FAX送信票 ①

※キリトリ線で切り離して、FAX送信票①②をFAXしてください。

「企業経営の未病」とは

企業の経営状況は「健全」と「不振」を明確に区別できるものではありません。この健全経営と経営不振の間を連続的に変化する状態が「企業経営の未病」で、下の図のようなグラデーションモデルで表すことができます。

健全経営

未病

経営不振

未病の状態のどこにいても、少しでも健全経営にもっていこうとする取組が「企業経営の未病改善」です。

将来のリスクと改善のヒント

	将来のリスク	改善のヒント	相談すると分かること
I 先行き	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の減少 売上の減少 競争力、集客力の低下 事業の休止・廃業 	<ul style="list-style-type: none"> お店の魅力の磨き上げ 商品・メニューの充実・見直し 地域と一体となった販促力の強化 BCP・事業承継計画の作成 	A 顧客獲得や売上増など収支の改善につながる方策が見つかります。
II 店員	<ul style="list-style-type: none"> ノウハウの消失 トラブルの発生・顧客離れ 教育不足による離職 求心力、活力の低下 	<ul style="list-style-type: none"> 柔軟な働き方の導入 人材の採用と計画的育成 お店の魅力のPR 	B 働き方改革や魅力のある職場作りにつながる方策が見つかります。
III 店舗	<ul style="list-style-type: none"> 新規顧客獲得機会のロス 売上の減少 顧客離れ 	<ul style="list-style-type: none"> お店のリニューアル 適切な商品情報の提供 整理・整頓・清掃の徹底 適切な仕入れの実施 	C 販路開拓など、収益力を向上させる方策が見つかります。
IV 稼ぐ力	<ul style="list-style-type: none"> 収益の低下 競争力の低下 資金ショート 	<ul style="list-style-type: none"> 新メニューの開発・商品の見直し 商品回転率の向上 運転資金の確保 	D 資金の確保など収益力を安定させる方策が見つかります。
V 組織	<ul style="list-style-type: none"> 機会損失 顧客離れ 事故の発生 情報の流出、信用の喪失 	<ul style="list-style-type: none"> マニュアル・レシピの整備 健康経営の実践 情報セキュリティの強化 仕入先と産地の分散 	E 情報流出などの事故防止につながる方策が見つかります。

まずは、
ご相談
ください!

改善のヒントを参考に、自ら取り組むことも大事ですが、取り組む方向性は様々です。

- 各種支援策を活用して、さらなる成長を目指す
- 将来のリスクを解消し、経営の安定化を図る
- 次の世代に経営を委ねることも考えてみる
- 事業の休止や整理も選択肢のひとつとして検討してみる

窓口では、様々な支援策の活用や今後の方向性を、一緒に考えていきます!

企業経営の未病相談ダイヤル (公財) 神奈川県産業振興センター



0120-918-709

FAX 045-633-5194

支援機関や支援策について詳しく知りたい方は

神奈川県 企業経営の未病改善

検索

問合せ先

**企業経営の現状を把握し
早期にリスクに気づくことが重要です!**

企業経営の**未病** CHECKシート

5分
で
可
能
!

このチェックシートは、簡単な質問に答えるだけで
経営上の課題やリスクが見つかります。チェック後には課題解決のヒントも!



チェックシート実施後は

WEB版は
こちら!



■ まずは相談(相談窓口)

チェックシートの結果を踏まえ、ヒアリングを行い、相談員が貴社に潜むリスクなどをお示しします。

■ 相談後、課題解決に向けた専門家派遣

貴社に潜むリスクへの対応策について、専門家(中小企業診断士)を派遣して対応方法のアドバイスをします。

まずは、チェックしてみよう! ▶

経営状況について、次のⅠ～Ⅴの各項目の質問のうち、該当するものすべてにチェックをつけ、その合計数を①～⑤の枠内に記入してください。

Ⅰ
先行き

- 常に新規取引先の開拓をしている
- デジタルやDXなどが社員で話題となっている
- 長年同じサービスや工法の提供を続けている
- 事故や天災、感染症等への対応はその都度考えている
- 後継者への引き継ぎはまだ先の話だと考えている

①

点

▶ 最終ページのAで
方策を確認!

Ⅱ
従業員

- 特定の従業員にまかせている
- 従業員教育が気がかりだ
- 求人を出しても応募者が集まらなくなってきた
- 笑顔で挨拶をする従業員が減っている
- ここしばらく従業員の入れ替わりがない

②

点

▶ 最終ページのBで
方策を確認!

Ⅲ
サービス

- 顧客から予想外の追加サービスを求められることが多い
- 顧客ニーズの把握は、新聞などの外部メディアに頼っている
- 顧客に合わせたサービスの提供が難しいことがよくある
- クレーム対応にかかる時間が増加している
- アフターフォローは、求めに応じて行っている

③

点

▶ 最終ページのCで
方策を確認!

Ⅳ
稼ぐ力

- 得意客からのオーダーはほぼ決まっている
- これ以上のコスト削減に対応するのは難しい
- 賃上げに見合った価格にしたいと思うことがよくある
- 賃上げや設備投資を最近行っていない
- 資金繰りに苦労することが多く計画が進まない

④

点

▶ 最終ページのDで
方策を確認!

Ⅴ
組織

- 自分がいないと仕事がちゃんと進むか心配になる
- 現場のことは現場にまかせている
- 従業員の健康が気になる
- 顧客情報やノウハウの管理にはそれほど気をつかわない
- 社内情報は従業員なら誰でも見ることができる

⑤

点

▶ 最終ページのEで
方策を確認!

FAX送信票 ①

※キリトリ線で切り離して、FAX送信票①②をFAXしてください。

STEP

2

次の外部要因のうち、業界などあなたの身の回りで起こっていると感じるものすべてにチェックをつけ、その個数を枠内に記入してください。記入した個数に「1」を加えた数を⑥の枠内に記入してください。

外部要因

- サービスの要求水準が高くなってきている
- 業界への参入・撤退が共に激しい
- 燃料等の高騰や賃金上昇が話題になる

個 + 1 = ⑥ 点

STEP

3

STEP1のI～Vの項目の点数にSTEP2の点数をかけた結果を⑦～⑪の枠内に記入してください。図の中のその点数に○を付け、企業経営の未病を見える化しましょう。

STEP 1	STEP 2	STEP 3	0	5	10	15	20(点)
I 先行き ① 点		= ⑦ 点	○	○	○	○	○
II 従業員 ② 点		= ⑧ 点	○	○	○	○	○
III サービス ③ 点	× ⑥ 点	= ⑨ 点	○	○	○	○	○
IV 稼ぐ力 ④ 点		= ⑩ 点	○	○	○	○	○
V 組織 ⑤ 点		= ⑪ 点	○	○	○	○	○

STEP3の図の濃い色の方に○がついた項目ほどリスクのある可能性が高くなりますが、○がどこについても、リスクは潜んでいます。どのようなリスクがあり、どのような対応をしたらよいかについて、まずはお近くの商工会・商工会議所にご相談ください。または、企業経営の未病相談ダイヤルにお電話かCHECKシートをFAXして、ご相談ください。

企業経営の未病相談ダイヤルでは、専門家の派遣や経営相談を受け付けています。
気になることがあれば、下記に必要事項を記載の上、FAXしてください。

企業経営の未病
相談ダイヤル



0120-918-709 FAX 045-633-5194

- 気になることがあり相談してみたい 利用できる支援策が知りたい

社名		担当者名	
住所		主な業種	
Eメール		従業員数	
TEL/FAX		利用している支援機関	

送付していただいた「企業経営の未病CHECKシート」の情報は、県、(公財)神奈川産業振興センター及び上記の「利用している支援機関」に記載の支援機関において、企業経営の未病改善事業のために利用し、その他の事業には利用しません。

FAX送信票 ②

「企業経営の未病」とは

企業の経営状況は「健全」と「不振」を明確に区別できるものではありません。この健全経営と経営不振の間を連続的に変化する状態が「企業経営の未病」で、下の図のようなグラデーションモデルで表すことができます。

健全経営

未病

経営不振

未病の状態のどこにいても、少しでも健全経営にもっていこうとする取組が「企業経営の未病改善」です。

将来のリスクと改善のヒント

	将来のリスク	改善のヒント	相談すると分かること
I 先行き	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の減少 売上の減少 競争力の低下 集客力の低下 事業の休止・廃業 	<ul style="list-style-type: none"> 自社の強みの磨き上げ サービスの充実・工法の見直し 販促力の強化 BCP・事業承継計画の作成 	A 顧客獲得や売上増など収支の改善につながる方策が見つかります。
II 従業員	<ul style="list-style-type: none"> ノウハウの消失 トラブルの発生・顧客離れ 人手不足 求心力の低下 活力の低下 	<ul style="list-style-type: none"> 柔軟な働き方の導入 人材の採用と計画的育成 自社の魅力PR 	B 働き方改革や魅力のある職場作りにつながる方策が見つかります。
III サービス	<ul style="list-style-type: none"> 作業と工数の増加 ニーズとのミスマッチ 顧客離れ 信用の低下 	<ul style="list-style-type: none"> 営業力・提案力の強化 情報収集力の強化 作業の平準化・標準化 	C 販路開拓など、収益力を向上させる方策が見つかります。
IV 稼ぐ力	<ul style="list-style-type: none"> 収益の低下 競争力の低下 資金ショート 	<ul style="list-style-type: none"> サービスの見直し・工法の取得 日程・工数の管理 設備の計画的導入 運転資金の確保 	D 資金の確保など収益力を安定させる方策が見つかります。
V 組織	<ul style="list-style-type: none"> 機会損失 不測の事態の発生 情報の流出 信用の喪失 	<ul style="list-style-type: none"> 責任者の育成 ホウ・レン・ソウの徹底 健康経営の実践 情報セキュリティの強化 重要情報管理の徹底 	E 情報流出などの事故防止につながる方策が見つかります。

まずは、
ご相談
ください!

改善のヒントを参考に、自ら取り組むことも大事ですが、取り組む方向性は様々です。

- 各種支援策を活用して、さらなる成長を目指す
- 将来のリスクを解消し、経営の安定化を図る
- 次の世代に経営を委ねることも考えてみる
- 事業の休止や整理も選択肢のひとつとして検討してみる

窓口では、様々な支援策の活用や今後の方向性を、一緒に考えていきます!

企業経営の未病相談ダイヤル (公財) 神奈川県産業振興センター



0120-918-709

FAX 045-633-5194

支援機関や支援策について詳しく知りたい方は

神奈川県 企業経営の未病改善

検索

問合せ先



速やかな事業再建を、神奈川県が後押しします

災害対応融資

《令和6年台風第10号に伴う被害等にもご利用いただけます》

県では、様々な災害で被害を受けた皆さまにご利用いただける融資をご用意しています。ぜひお役立ていただき、1日も早い復興をお祈りいたします。

中小企業
制度融資の
ご案内



融資の特徴

- 1 大規模災害に限らず、様々な災害において即座に融資利用が可能
- 2 一般枠においては、り災届出証明書等で融資申込みが可能
- 3 最大8億4,000万円まで利用可能

通常の利用可能枠(融資限度額)

国の政策による特別枠(融資限度額)

《一般枠》
最大2億8,000万円



《別枠》
最大2億8,000万円



《激甚災害枠》
最大2億8,000万円

融資概要

融資条件		一般枠	別枠	激甚災害枠
融資対象	対象者	自然災害等により設備や建物等が被害を受けた中小企業者等	自然災害等により、市町村長からセーフティネット保証4号 ^{※1} の認定を受けた中小企業者等	激甚災害に指定された自然災害等により設備や建物等が被害を受けた中小企業者等
	所在地	県内全域	セーフティネット保証4号の指定地域	激甚災害の指定地域
	必要書類 ^{※2}	市町村等が発行するり災届出証明書等	市町村が発行するセーフティネット保証4号の認定書	市町村等が発行するり災証明書等
資金用途	事業の再建に必要な運転・設備資金	経営の安定に必要な運転・設備資金	事業の再建に必要な運転・設備資金	
融資限度額	2億8,000万円 (うち無担保8,000万円)	2億8,000万円 (うち無担保8,000万円)	2億8,000万円 (うち無担保8,000万円)	
融資期間	運転資金:10年以内 設備資金:15年以内 (据置期間2年以内を含む)			
融資利率 (固定)	2年以内:年1.2%以内	2年超5年以内:年1.4%以内	5年超15年以内:年1.6%以内	
信用保証料率	0.26%~1.42% ^{※3}	1.00% (0.60%) ^{※3 ※4}	1.00%	

※1 突発的災害(自然災害等)の発生に起因して売上高等が減少している中小企業者等を支援するための措置

※2 他、融資申込み書類等が必要

※3 県の補助、県信用保証協会の割引後の信用保証料率

※4 令和6年台風第10号に係るものに限る

融資のお申込みは以下の取扱金融機関へ

銀行	みずほ / 三菱UFJ / 三井住友 / りそな / 群馬 / きらぼし / 横浜 / 第四北越 / 山梨中央 / 北陸 / 静岡 / スルガ / 阿波 / SBJ / 東日本 / 東京スター / 神奈川 / 大光 / 静岡中央
信用金庫	横浜 / かながわ / 湘南 / 川崎 / 平塚 / さがみ / 中栄 / 中南 / さわやか / 芝 / 西武 / 城南 / 世田谷 / 多摩 / 山梨
信用組合	ハナ / 神奈川県医師 / 神奈川県歯科医師 / 横浜幸銀 / 横浜華銀 / 小田原第一 / 相愛
政府系金融機関	商工組合中央金庫

■ 融資に関して詳しくはこちらのホームページをご覧ください

神奈川県中小企業制度融資「災害対応融資」

こちらの2次元コードからも
ご覧いただけます



https://www.pref.kanagawa.jp/docs/m6c/cnt/f5782/saigaitaiou_yusi.html

お問合せ

神奈川県産業労働局金融課(金融相談窓口)

☎ 045-210-5695

8:30~17:15
年末年始、土日祝除く



神奈川県

会計ソフトと
パソコンの購入



HPの作成
ネットショップの開設



勤怠管理システム
を導入



一步、先へ!

県がデジタル化を支援します

小規模事業者デジタル化支援推進事業費補助金

補助率	2/3(以内)
補助金	50万円
対象者	小規模事業者(※)

(※) 例：商業・サービス業であれば従業員
5人以下の事業者



キャッシュレス決済
POSシステムを導入



現場管理システム
を導入

人手不足を何とかしたい…業務をもっと効率化したい…
そんな悩みに“デジタルの力”を活用しませんか?
県がデジタル化の導入経費を補助します!
すでに多くの事業者の皆さんが始めています!

公募期間

令和6年6月3日(月) 午前9時から
令和6年11月29日(金) 午後5時まで
※予算に達し次第受付を終了します。

詳しくは以下までお問い合わせください

神奈川県産業労働局 中小企業支援課補助金班

受付時間：平日9時から12時まで／13時から17時まで

電話番号 070-1187-0348、070-1187-0382、070-1187-0435

ホームページ：https://www.pref.kanagawa.jp/docs/jf2/shokibo_digital/r6.html

裏面もぜひご覧ください



どんなときに使える補助制度なんだろう？

こんなときに使えます！



業種別導入例

飲食業	POSやキャッシュレス決済を導入して、業務を効率化したい
小売業	在庫管理システムを導入して、見える化したい
サービス業	予約管理システムを導入して、二重予約を防ぎたい
建設業	現場管理システムを導入して、リモート化したい
製造業	生産管理システムを導入して、工程を最適化したい
運輸業	運行管理システムを導入して、効率的に配送したい

業務別導入例

経理業務	会計ソフトとパソコンを購入して、集計時間を削減したい
営業業務	HPの作成やネットショップを開設し、新たな顧客を獲得したい 顧客管理システムや自動メール送信システムを導入してタイムリーにアプローチしたい
労務管理業務	勤怠管理システムを導入して、出退勤管理を自動化したい
その他の業務	マニュアル作成ツールを導入して、効率化したい

【事前相談について】

☞申請に際しては、公益財団法人神奈川産業振興センター又は各商工会、商工会議所で事前相談を受ける必要があります。相談を希望される方は、公益財団法人神奈川産業振興センター等、各機関に直接お問い合わせください。



【事前相談の問合せ先】

公益財団法人神奈川産業振興センター 045-633-5201
(受付時間 9時～17時)

各商工会、商工会議所の連絡先は県ホームページ掲載の公募要領(P.29)をご確認ください。

二次元バーコード
はこちら☞

申請
要件

詳しくは、県ホームページ掲載の公募要領をご確認ください。

神奈川県 小規模デジタル

検索





神奈川県

KANAGAWA

募集期間

10/1(火)~
11/30(土)

かながわ みんなのSDGs 大募集!!

SDGsの取組を進めている又はこれから取り組もうという企業・団体等に対し、
ヒントとなるような取組を表彰します。

令和6年度より、2者以上のパートナーによる連携の取組も募集します。

ご応募いただいた中で、特に他者の参考となる取組については、

令和7年2月のテクニカルショウヨコハマ内で表彰します!!

自社・自団体の取組はこちら

① みんなのSDGs賞

取り組みやすい事例をパートナーや
一般企業・団体による投票にて選定

② 神奈川県中小企業診断協会賞

神奈川県中小企業診断協会が、中小
企業診断士の知見から社会課題へ
の貢献度を評価



2者以上のパートナーによる 連携の取組はこちら

みんなのSDGs連携賞

令和6年度より、2者以上のパー
トナー同士が連携して実施する
(した)取組を表彰するかながわ
みんなのSDGs連携賞を新設
します。

表彰者特典

表彰された取組は、リーフレット、県特設ホームページ、県が主催するセミナー等で紹介するなど、広く発信していきます。

申込期間

10月1日(火)~11月30日(土)

対象者

かながわSDGsパートナー 随時パートナーを募集しており、パートナー登録申込みと同時に申し込みいただけます。

応募方法

QRコードの県特設ホームページより、応募申請書をダウンロードし、
かながわSDGsパートナーシステムの応募フォームより応募申請書の提出をお願いいたします。



[かながわみんなのSDGs](#) 検索



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

みんなのSDGs賞・神奈川県中小企業診断協会賞 募集要件詳細

かながわSDGsパートナーが行うSDGsに向けた取組のうち、下記の視点に一つでも該当する取組を募集します。

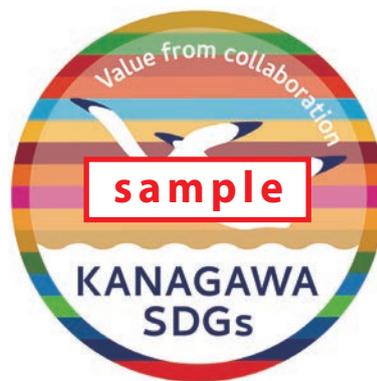
取組の視点	① ぴぴっとくる	他の企業・団体等へのヒントあるいは取り組むきっかけとなるような内容であるか
	② 実施効果	組織、事業、人材、社会等に良い結果を与えているか
	③ 取り組みやすさ	他の企業・団体等において幅広くロールモデルとなるか
	④ 費用・労力	多大な資金、人材を要さずとも実現可能な取組であるか
	⑤ 継続性	自社の本業を通じた取組で企業価値（人材確保、ブランド力等）を高めているか

みんなのSDGs連携賞 募集要件詳細

連携ロゴマークを申請いただき、
審査を通過した事例を対象に、
連携賞へのエントリーが可能です。



かながわSDGsパートナー
連携ロゴマークについて



よくあるご質問

Q.1 「かながわみんなのSDGs」の応募様式は
どこから入手できますか？

A.1 県特設ホームページから応募申請書（Power Point形式）をダウンロードし、それぞれの必要事項を記入のうえ、Power Point形式のまま（PDF化せずに）かながわSDGsパートナーシステムの応募フォームから応募してください。

Q.2 これまで実施している既存の取組や開始から
日が浅い取組も応募できますか？

A.2 応募可能です。

Q.3 応募時点で実施していないが、
これから実施する取組は応募できますか？

A.3 応募時点で実施している取組が対象です。

Q.4 各企業・団体で複数の応募はできますか？

A.4 取組ごとに応募が可能です。応募様式に1取組
ずつ入力し、各々提出をお願いいたします。
なお、応募数に制限はございません。

Q.5 過去に応募した取組は応募できますか？

A.5 過去に受賞歴のない取組の応募は可能です。



神奈川県

KANAGAWA



KANAGAWA SDGs PARTNER

神奈川県 | SDGs未来都市 私たち一人ひとりの行動が、未来につながる。

いつでも
申請
できます!

かながわSDGsパートナー募集!

SDGs 推進に向けて
県内企業・団体等の皆様と連携を図ります

神奈川県では、企業・団体等におけるSDGsの取組拡大を目的に、「かながわSDGsパートナー」制度を立ち上げ、これまで多くの企業や団体等にパートナーになっていただいています。皆様からの応募をお待ちしております。

かながわSDGsパートナー

SDGsの取組等を実施している企業・団体等を募集・登録し、県ホームページ等で発信するとともに、パートナーと連携して、SDGsの取組を促進します。

申請時点で既にSDGsの取組を実施し、明確に公表していることが必要です。

かながわSDGsパートナー 検索



登録後、電子データにより「登録証」、「ロゴ」をご提供します!

[お問合せ] 神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室SDGs推進グループ 電話:045-285-0539



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県

募 集 概 要

趣 旨	<p>SDGsの取組等を実施している企業、NPO、団体、大学（以下「企業・団体等」という）を「かながわSDGsパートナー」として登録し、本県とパートナーが連携して取組等を行うとともに、パートナー間の連携を本県が後押しすることで、県内のSDGsに関する取組や事業を促進させることを目的とする。</p>
募集期間	<p>随時、募集を行っていますので、いつでも申請可能です。 審査受付後、審査を行い、概ね翌月末までに登録・公表予定です。</p>
申請要件	<p>次の(1)から(3)のすべての条件を満たし、申請日時点で既にSDGsの取組を実施し、明確に公表していることが必要です。</p> <p>(1) 基本的事項 本県内に事業所を有する企業・団体等であること。ただし、本県内で継続的(2ヵ年以上)に事業を実施することを証明できる者はこの限りではありません。</p> <p>(2) 資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 県税等に未納がないこと ● 神奈川県暴力団排除条例第2条第5号で定める暴力団経営支配法人等に該当しないこと ● 過去3年以内に、重大な法令違反がないこと <p>(3) SDGsの取組等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 経済・社会・環境の三側面すべてに関わる取組を実施していること ● SDGsの取組等を、対外的に公表・発信していること ● かながわSDGsパートナーとして、SDGsの普及促進に取り組み、「かながわSDGsパートナーミーティング」や「かながわみんなのSDGs」など県のSDGsの取組に積極的に参加(年1回程度以上)し、多様なステークホルダーとの連携が図れること
申請方法	<p>県ホームページ記載の申請フォームにて申請してください。</p> <p>県ホームページに募集要項、登録申請記載要領・記載例、「かながわSDGsパートナー募集についてのQ&A」等を掲載しています。</p> <p>※申請フォームは一時保存ができませんので、あらかじめ記載内容をご確認ください。</p> <p style="text-align: right;">申請フォームはこちら▶ </p>
登録企業のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本県の中小企業制度融資による支援 ■ 本県による対外的な広報・PR(本県ホームページへの掲載、ロゴ使用可) ■ 「かながわSDGsパートナーミーティング」等を通じたパートナー間のマッチング支援 ■ 中小企業者のSDGs経営に向けた取組支援